

# News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10  
TEL.0852-55-1000  
<https://www.gogin.co.jp>

2022年7月4日

## 「経団連生物多様性宣言」への賛同

山陰合同銀行は、経団連自然保護協議会および経団連が策定した「経団連生物多様性宣言」に賛同し、2022年6月に「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」に参加しました。

2022年はCOP15（生物多様性条約締約国会議）で「ポスト2020生物多様性枠組み（2030年までの目標）」が採択される予定で、サステナビリティの観点から経済活動が生物多様性に与える影響を考慮すべきとの議論が進められています。

「経団連生物多様性宣言」は生物多様性の重要性を認識した企業経営を推進する目的で宣言されたもので、当行も一企業としてこの宣言に賛同し、かけがえのない生態系を守り、豊かな自然とその恵みを将来世代に引き継いでいくことに努めます。

以上

(ご参考)

### 【生物多様性とは】

地球上には様々な生物が存在し、互いに関係しながら生息しており、生物多様性とはそれらの違いやつながりを示しています。生物多様性に富んだ生態系では質の高い自然の恵み（食べ物、水、空気、自然災害の軽減など）を得られ、社会経済活動の多くは生態系のもたらす恵みに直接的・間接的に依存していると言われています。この生物多様性は、20世紀後半から途上国地域を中心に急速に自然破壊が進み、環境問題を引き起こしてきたことから注目されるようになりました。動植物の乱獲や自然開発、地球温暖化などの影響により、生物多様性はかつてない速さで損なわれていると言われています。

### 【経団連生物多様性宣言】

1. 【経営者の責務】 持続可能な社会の実現に向け、自然の営みと事業活動とが調和した経営を志す
2. 【グローバルの視点】 生物多様性の危機に対して、グローバルな視点を持って行動する
3. 【自主的取組み】 生物多様性に資する行動に自発的かつ着実に取り組む
4. 【環境統合型経営】 環境統合型経営を推進する
5. 【自然資本を活かした地域の創生】 自然への畏敬の念を持ち、自然資本を活用した地域の創生に貢献する
6. 【パートナーシップ】 国内外の関係組織と連携・協働する
7. 【環境教育・人材育成】 生物多様性を育む社会づくりに向け、環境教育・人材育成に率先して取り組む



### 【経団連生物多様性宣言イニシアチブ】

自然共生社会の構築を通じた持続可能な社会の実現を目指し、「経団連生物多様性宣言」に賛同する企業の取組みを国内外に発信するもの。

### 【当行の取組事例】

当行グループでは**投融資方針**を定め、本業を通じた持続可能な地域社会・地域環境の実現に取り組むとともに、長年にわたり地域と連携した森林保全活動を実施しています。

#### 1. サステナビリティ宣言を踏まえた投融資方針（抜粋）

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標の趣旨等を踏まえ、本業を通じた持続可能な地域社会・地域環境の実現のため、投融資において積極的に取り組む分野と取り組みを回避する分野について方針を定めております。

宍道湖や中海といった「ラムサール条約指定湿地」、石見銀山等の「ユネスコ指定世界遺産」のように保護価値の高い地域へ重大な影響を及ぼす事業への投融資は行いません。

#### 2. 取組事例

##### （1）ごうぎん希望の森（2006年～）

「ふるさとの自然を守る」「一人ひとりが、できることをできる範囲で継続する」という理念のもと、地域の皆さまと一緒に、森林を育み、次世代につなげていく活動を行っています。役職員による実践的な森林保全活動や、地域のボランティア団体等との交流を通じて、森林保全の重要性や森林の現状を発信し、森づくりの輪を広げる活動に長年取り組んでいます。

山陰発の地域と連携した銀行による森林保全活動の取組みは全国運動に発展しています。



##### （2）ヨシ刈り取りボランティア（2013年～）

宍道湖水環境改善協議会が取り組まれている宍道湖の水質浄化を目的とした活動に賛同し、ヨシ狩りのボランティアに参加しています。ヨシには水をきれいにする働きがありますが、冬に枯れたヨシはヘドロ化し湖底に堆積してしまいます。刈り取りはヨシが吸収した窒素やリンが再び湖に流出することを防いでいます。